

当公社アンケートによる県内経済

全産業

前年同月比については、業況D I値は-48.6で前回の11月調査に比べ7.8ポイントのマイナスとなり下降傾向となっている。業種別の業況D I値を前回と比較すると、建設業では若干上昇傾向となったが、他業種では下降傾向となり、特に小売業、卸売業、サービス業では下降割合が大きい結果となっている〔図1〕。生産・販売高(完成工事高)D I値は-32.4で前回より5.4ポイントのマイナスとなっている〔表1〕。生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、小売業において大幅な下降傾向を示しており、中でも飲食料品、飲食店等の下降割合が大きくなっている。

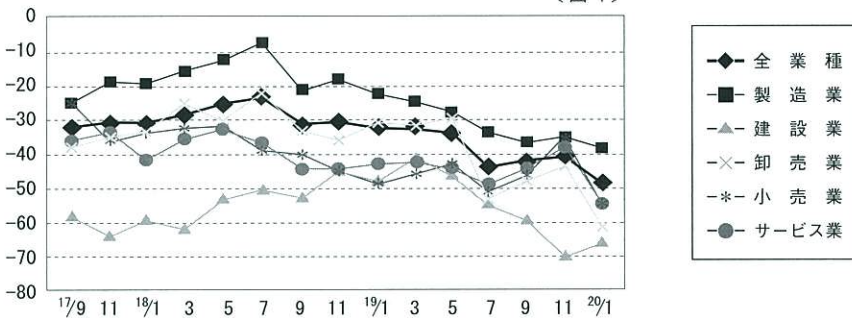
3ヶ月先見通しについては、業況D I値が-39.9で前回に比べ2.9ポイントのプラス、生産・販売高(完成工事高)D I値は-10.3で25.4ポイントのプラス見通しとなっている〔表2〕。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、全ての業種で上昇傾向を示し、中でも卸売業の建築材料やサービス業のクリーニング、製造業では出版・印刷や木材木製品等で大幅な上昇見通しとなっている。

営業利益率は、前年同月比で-50.4と前回に比べ0.2ポイントのプラス、3ヶ月先見通しでは-37.4と9.8ポイントのプラスとなっており、資金繰りについては前年同月比-29.2で1.4ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-31.3で4.6ポイントのプラスとなっている。

県内経済の動き1月調査
現状でやや落ち込むも、
3ヶ月先見通しに
期待感あり

〈業況D I値の推移(前年同月比)〉

〔図1〕



〔表1〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(1月)	-48.6	-32.4	-50.4	-29.2
前回(11月)	-40.8	-27.0	-50.6	-27.8
前回比	-7.8	-5.4	0.2	-1.4

〔表2〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(1月)	-39.9	-10.3	-37.4	-31.3
前回(11月)	-42.8	-35.7	-47.2	-35.9
前回比	2.9	25.4	9.8	4.6

製造業

製造業全体の前年同月比では、業況D I値は-37.5で前回に比べ2.6ポイントのマイナス、生産・販売高D I値は-17.9で前回に比べ0.7ポイントのマイナスとなっている。また、3ヶ月先の見通しでは、業況D I値は-24.8で前回に比べ8.5ポイントのプラス、生産・販売高D I値は3.2で28.6ポイントの大幅なプラスの見通しとなっている。

業種別の業況では、前年同月比で上昇が9業種、下降が7業種となっている。生産高では、前年同月比で前回と比較すると非鉄金属、精密機械器具、金属製品、電気機械器具、出版・印刷等で上昇傾向となったものの、鉄鋼業、窯業・土石製品、輸送用機械器具等では下降傾向となっている。3ヶ月先の見通しでは、ほとんどの業種で上昇傾向の見通しであり、特に出版・印刷、木材木製品、紙製品・紙加工品等で大幅な上昇傾向の見通しとなっている。

業況(前年同月比)

〔表3〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具装	紙製加	出版印	化学油	窯業土	鉄鋼	非鉄金	金属製	一般機	電気機	輸送機	精密機
今(1月)	-50.0	-44.4	-20.0	-69.2	0.0	20.0	-50.0	0.0	-84.6	-57.1	0.0	-31.3	-31.6	-17.2	-20.0	-16.7
前(11月)	-44.2	-20.0	-25.0	-57.1	-50.0	14.3	-44.4	-33.3	-60.0	-12.5	-20.0	-37.5	-36.8	-29.6	-14.3	-25.0
前回比	▲5.8	▲24.4	5.0	▲12.1	50.0	5.7	▲5.6	33.3	▲24.6	▲44.6	20.0	6.2	5.2	12.4	▲5.7	8.3

生産高(前年同月比)

〔表4〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具装	紙製加	出版印	化学油	窯業土	鉄鋼	非鉄金	金属製	一般機	電気機	輸送機	精密機
今(1月)	-25.6	-22.2	20.0	-38.5	0.0	20.0	-33.3	0.0	-53.8	-28.6	25.0	-25.0	-10.5	-10.3	10.0	0.0
前(11月)	-27.9	-10.0	25.0	-42.9	0.0	14.3	-44.4	0.0	-13.3	12.5	0.0	-37.5	-10.5	-22.2	33.3	-25.0
前回比	2.3	▲12.2	▲5.0	4.4	0.0	5.7	11.1	0.0	▲40.5	▲41.1	25.0	12.5	0.0	11.9	▲23.3	25.0

(注1) 各業種の数値はD I値にて表示している。D Iは「好転」、「変わらず」、「悪化」の問いに対し、「好転」と答えた%から「悪化」と答えた%を引いた値。

なっている。業種別に見る売上高では、その他小売以外のほとんどの業種で上昇傾向の見通しとなっている。業況では、前年同月比で厳しい状況とした飲食店以外の業種は全て下降傾向の見通しとなっている。その他問題点としては売上の伸び悩みや競争激化は依然として高い割合であるが、人件費の上昇と回答した割合もやや高くなっている。また、原油高の影響とする回答もあった。〔表 7〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
1月	-55.5	-44.4	-53.9	-19.1
11月	-35.4	-17.8	-40.3	-29.5
9月	-45.3	-37.4	-48.4	-7.8

サービス業

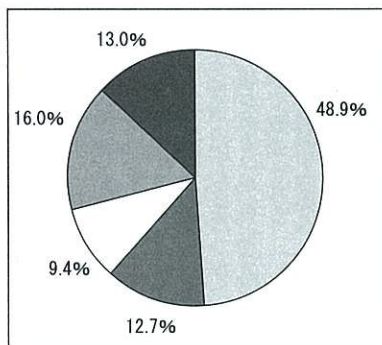
前年同月比の業況DI値は-54.9で前回到比17.1ポイントのマイナス、売上高DI値も-31.3で9.0ポイントのマイナスとなっている。業種別に見る売上高では、旅客運送や自動車整備において大幅な上昇傾向となったものの、情報サービスやホテル・旅館では大幅な下降傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-37.3で1.8ポイントのマイナス、売上高DI値は-11.8で31.4ポイントの大幅なプラスの見通しとなっている。業種別の売上高では、前年同月比で上昇傾向を示した自動車整備は大幅に下降する見通しとなっている。一方、クリーニングや貨物運送においては上昇する見通しとなっている。その他問題点としては、仕入価格上昇の割合が依然として高く、軽油等の値上りの影響とする回答が多い。その他、人材不足を問題としている回答もあった。〔表 8〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
1月	-54.9	-31.3	-37.3	-11.8
11月	-37.8	-22.3	-35.5	-43.2
9月	-44.0	-28.0	-16.0	-4.0

調査の概要 平成20年1月時点調査(郵送法)

調査対象 県内39業種 1,000社
有効回答企業 393社 (回答率39.3%)
業種内訳 製造業 192社 建設業 50社 卸売業 37社
小売業 63社 サービス業 51社



〔図 2〕

■	製造業
■	建設業
□	卸売業
■	小売業
■	サービス業

建設業

前年同月比の業況DI値は-66.0で前回到比4.8ポイントのプラス、売上高DI値は-68.0で5.4ポイントのマイナスとなっている。業種別に見ると前回、業況において大幅に下降傾向を示した総合建設は、やや持ち直しの傾向となったものの、まだまだ厳しい状況となっている。設備工事はこれまで微増ながら上昇傾向としていたが、今回調査においては完工高減少、資材価格の高騰、資金繰りの悪化などにより業況は下降傾向を示している。

3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-76.0で0.6ポイントのプラス、売上高DI値は-48.0で17.2ポイントのプラスの見通しとなっている。業種別に見る完工高では、総合建設において上昇傾向の見通しであるが、設備工事はやや下降傾向の見通しとなっている。その他問題点としては民間工事減少とする割合と資材高が増加している。〔表 5〕

	業況 前年同月比	完工高 前年同月比	業況 3ヶ月先	完工高 3ヶ月先
1月	-66.0	-68.0	-76.0	-48.0
11月	-70.8	-62.6	-76.6	-65.2
9月	-59.2	-58.4	-66.6	-31.9

卸売業

前年同月比の業況DI値は-62.2で前回到比18.4ポイントのマイナス、売上高DI値は-41.6で7.2ポイントのプラスとなっている。業種別に見る売上高では、建築材料や機械器具で大幅な下降傾向となったが、その他商品(薬品や日用雑貨等)や衣服においては上昇傾向となっている。業況としては売上高で大幅な下降傾向を示した建築材料、機械器具の他、売上で上昇傾向とした衣服も大幅な下降傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-48.6で10.0ポイントのプラス、売上高DI値も-11.4で38.6ポイントの大幅なプラスの見通しとなっている。業種別に見る売上高では、衣服以外の業種で上昇傾向の見通しとなっており、特に前年同月比で下降傾向を示した建築材料、機械器具は大幅な上昇傾向の見通しとなっている。〔表 6〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
1月	-62.2	-41.6	-48.6	-11.4
11月	-43.8	-48.8	-58.6	-50.0
9月	-47.4	-42.1	-36.8	-21.0

小売業

前年同月比の業況DI値は-55.5で前回到比20.1ポイントのマイナス、売上高DI値も-44.4で26.6ポイントの大幅なマイナスとなっている。業種別の売上高では、ほとんどの業種で前回より下降傾向を示し、特に飲食料品、飲食店においては下降傾向の割合が大きい状況となっている。

3ヶ月先の見通しについては、業況DI値は-53.9で13.6ポイントのマイナス、売上高DI値は-19.1で10.4ポイントのプラス見通しと